

## 新型コロナウイルスワクチン接種のご案内

当院ではアストラゼネカ社製ワクチンの接種を10月4日（月）より開始いたします。

予約受付は9月27日（月）から、インターネットより事前予約制となります。

### 【ワクチンの種類】

本剤はウイルスベクターワクチンであり、SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）のアミノ酸配列をコードする遺伝子をサルアデノウイルス（風邪のウイルスであるアデノウイルスに、増殖できないよう処理が施されています。）に組み込んだ製剤です。本剤接種により遺伝子がヒトの細胞内に取り込まれると、この遺伝子を基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2 による感染症の予防ができると考えられています。

### 【接種対象者】

基本的にクーポン券をお持ちの、40歳以上の方が対象です。

以下の18歳以上の方も例外的な対象となります。

- ① mRNA ワクチンが接種できないポリエチレングリコールのアレルギーの方
- ② 海外でアストラゼネカ社製ワクチンを1回接種した方。

### 【接種方法】

通常は、三角筋（上腕の筋肉）に、1回0.5mLを筋肉注射という方法で接種します。

### 【接種回数と接種間隔】

- ・ 1回目の接種後、通常、4～12週間の間隔（※）で2回目の接種を受けてください。  
（※）最大の効果を得るためには、8週以上の間隔をおいて接種することが望ましいとされています。
- ・ 接種後12週間を超えた場合は、できるだけ速やかに2回目の接種を受けてください。
- ・ 1回目に本ワクチンを接種した場合は、2回目も必ず同じワクチン接種を受けてください。

### 【有効性について】

新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

本ワクチンの接種を受けた人は、受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。（臨床試験を通じて、約70%等の発症予防効果が確認されています。）

なお、本ワクチンの接種で十分な免疫が確認されたのは、2回目の接種を受けてから15日以降です。また、感染を完全に予防できる訳ではありません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

#### 【安全性について】

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、倦怠感、疲労、寒気、発熱等があります。なお、臨床試験では、これらの症状は2回目の接種時より1回目の接種時の方が、発現頻度が高い傾向が見られています。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。

ごく稀ではあるものの、ワクチン接種後に血小板減少症を伴う血栓症（※1）、毛細血管漏出症候群（※2）、ギラン・バレー症候群などの脱髄疾患（※3）を発症した例が、海外で報告されています。接種後に次のような症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

（※1）持続する激しい頭痛、目のかすみ、息切れ、錯乱、けいれん、胸の痛み、足のやむくみや痛み、持続する腹痛、接種部位以外の内出血（あざ）などの症状。なお、これらの症状の殆どは接種後28日以内に起きることが多く、また、2回目の接種後よりも1回目の接種後に起きることが多いです。

（※2）手足のむくみ、低血圧などの症状。

（※3）手足の力が入りにくいなどの運動障害、しびれなどの感覚障害、排尿・排便障害、目のかすみなどの視力障害。

なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

万が一、ワクチンの接種によって健康被害が生じた場合には、国による予防接種健康被害救済制度がありますので、お住まいの各自治体にご相談ください。

#### 【予防接種を受けることができない人、注意が必要な人】

下記にあてはまる方は、本ワクチンの接種ができない、または接種に注意が必要です。

当てはまるかどうかや、ワクチンを受けて良いか、ご不明な方は、その病気を診てもらっております主治医にご相談ください。

また、当てはまると思われる方は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

<受けることができない人>

- ・明らかに発熱している人（※1）

- ・重い急性疾患にかかっている人
  - ・本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
  - ・SARS-CoV-2 ワクチン接種後に血小板減少症を伴う静脈もしくは動脈の血栓症を起こしたことがある人
  - ・毛細血管漏出症候群の既往歴のある人
  - ・上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人
- （※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。
- （※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

#### <注意が必要な人>

- ・抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害（血友病など）のある人
- ・過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- ・過去に予防接種を受けて、接種2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- ・過去にけいれんを起こしたことがある人
- ・本ワクチンの成分（※）に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

妊娠中、または妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えて下さい。

#### 【接種当日の注意事項】

- ・接種前に、ご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、接種を控え、接種を受ける予定の施設にご連絡ください。
- ・ワクチンは、通常、三角筋（上腕の筋肉）に接種するため、肩の出しやすい服装でお越しください。

#### 【当日の持ち物】

##### 1、本人確認書類

生年月日や住所の印字があり、本人確認できるもの。

（運転免許証、健康保険証、介護保険被保険者証など）

##### 2、接種クーポン券

さいたま市から郵送された封筒に同封されています。

クーポン券下部の接種券は、剥がさずに、そのままご持参ください。

また、他の市区町村で 1 回目の接種を受けた方は、他市区町村発行の接種クーポン券もご持参ください。

### 3、予診票

さいたま市から郵送された封筒に同封されています。

住所、氏名、電話番号、生年月日、年齢、性別、質問事項を事前にご記入の上、お越しください。

### 4、封筒

さいたま市から郵送された封筒ごとご持参ください。

### 5、おくすり手帳

お持ちの方は、おくすり手帳もご持参ください。

#### 【ワクチンを受けた後の注意事項】

・本ワクチンの接種を受けた後、15 分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は 30 分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）

・注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。

・接種当日は、通常の生活は問題ありませんが、激しい運動や過度の飲酒は控えてください。